

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。**お読みになった後は、大切に保管してください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

● 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。

○ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

■ 取り付け上のご注意（取り付け前に必ずお読みください）

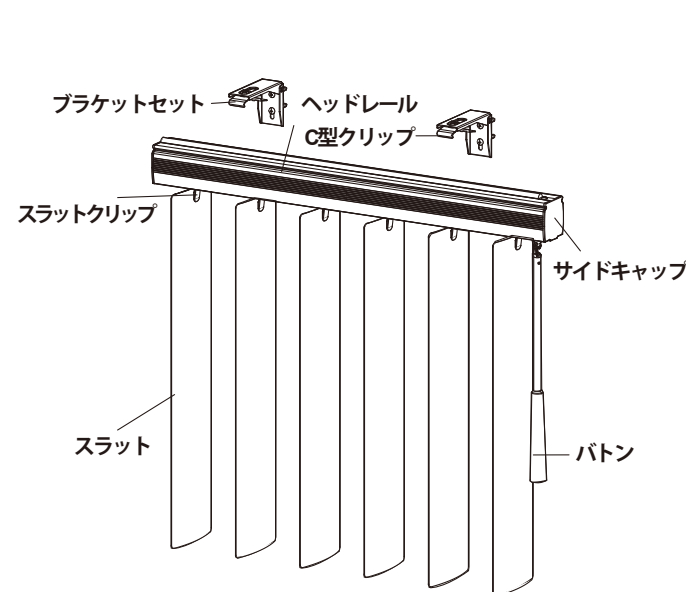
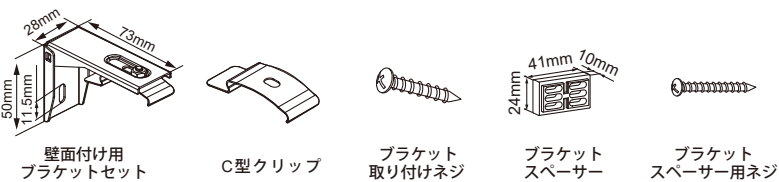
警告 ● 付属のブラケット取り付けネジは木部用です。木部以外の下地（石膏ボード等）には使用しないでください。本書に記載されているブラケット取り付け数量と取り付け位置は必ずお守りください。本体が落下し、ケガをしたリ物を破損する恐れがあります。
○ 設置作業の際には、作業範囲内に破損の恐れがあるものや、作業の妨げになるものがないことを確認の上、作業環境の養生準備を確実に行ったうえで設置作業を行ってください。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

警告 ● 無理な操作や乱暴な取り扱い、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。
○ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。

注意 ● 火のそばでの使用は絶対におやめください。
○ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスラット（はね）を畳んだ状態にしてください。製品の破損や思わぬ事故の原因につながる可能性があります。
○ 回転動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。
○ 必ずボタンを持って操作を行ってください。スラットを持って操作を行わないでください。

注意 ● 本製品は室内用です。屋外へは取り付けしないでください。
○ 高温・多湿の条件（サウナ・給湯器近く・ボイラー室等）への取り付けは絶対におやめください。
○ 製品は、左右平行（水平）になるように取り付けてください。

製品全体図及び部品名称、付属部品

付属部品の数量


製品幅 (mm)	窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け/カーテンボックス付け		壁面付け		
	C型クリップ	C型クリップ取り付けネジ※1,2	壁面付け用ブラケットセット	ブラケット取り付けネジ	ブラケットスペーサー※1,2,3
~1219	2	2	2	4	2
1220~1981	3	3	3	6	3
1982~	4	4	4	8	4

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地（石膏ボード等）には使用できません。
 ※2 通常は19mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー1連使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジが付属します。
 ※3 ブラケットスペーサーの数量は1連の場合です。2連、3連の場合、ブラケットスペーサーの数量はブラケットセット数xスペーサー連数になります。
 ご指定のない場合（標準）、ブラケットスペーサーは付属しません。ブラケットスペーサーが必要な場合は漏れが無いよう、注文内容に十分ご注意ください。
 (仮止め用両面テープ数=ブラケットセット数x1+ブラケットスペーサー数x2)

取り付け手順

取り付けの際には、下記の道具をご用意下さい

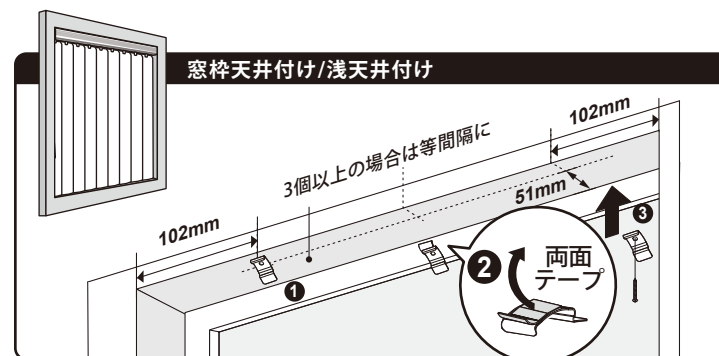


取り付け手順は次の順になります。

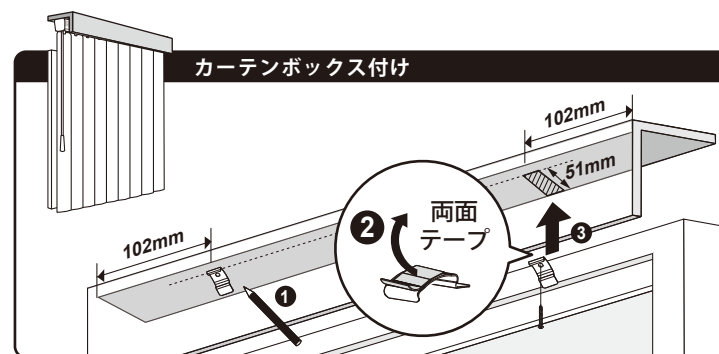
外箱の状態を確認 → 説明書と保証書を取り出す → 説明書を参照し、同梱付属品の数を確認
 → ヘッドレールとスラットを取り出す → 本体の取り付け → 梱包固定材を外す
 → ボタンの取り付け → スラットクリップの角度を調整し、スラットの取り付け

1 C型クリップの取り付け（窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け/カーテンボックス付け）

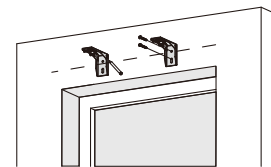
- 最初に両端のC型クリップ取り付け位置を決め、C型クリップをヘッドレールの両端部から約 102mm 内側に両面テープで仮止めしてください。
- 各C型クリップが左右平行（水平）になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。（下記参照）C型クリップが3個以上の場合は、中間のC型クリップの間隔が均等になるようにしてください。



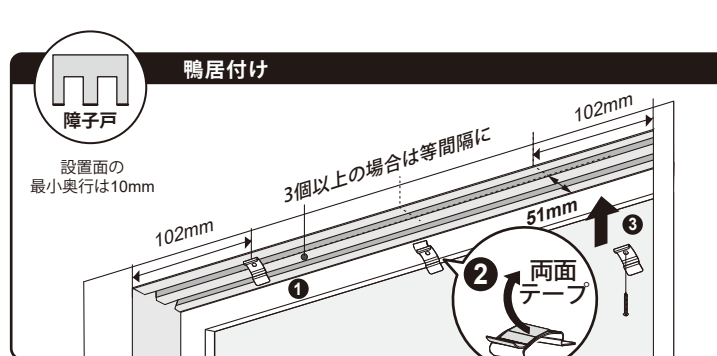
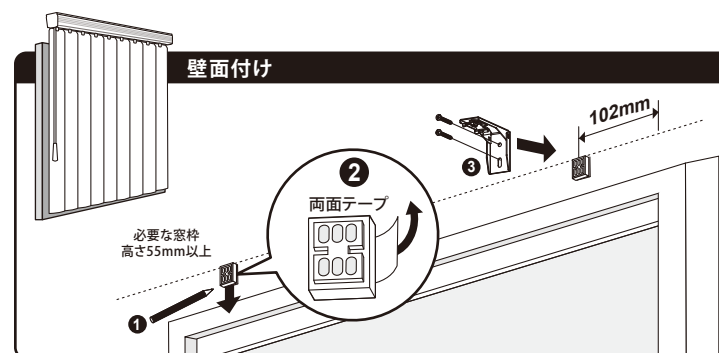
※ C型クリップの穴の中心が窓枠から51mm以上離れるように設置してください。


2 ブラケットの取り付け（壁面付け）
【ブラケットの固定】

ブラケットを2本のネジで固定します。採寸時と同様の高さ位置に取り付けてください。全てのブラケットは必ず水平に、かつ高さ位置が揃うように注意して取り付けてください。



※ ブラケットが水平でない場合故障や不具合の原因となります



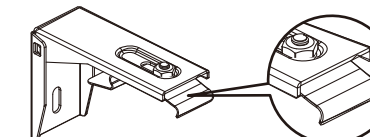
- 障子枠（鴨居）の取り付けは基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。
- ※ C型クリップの穴の中心が窓枠から51mm以上離れるように設置してください。

【ブラケットセット】

下図の通り、ブラケットにC型クリップがネジで取り付けられています。C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。



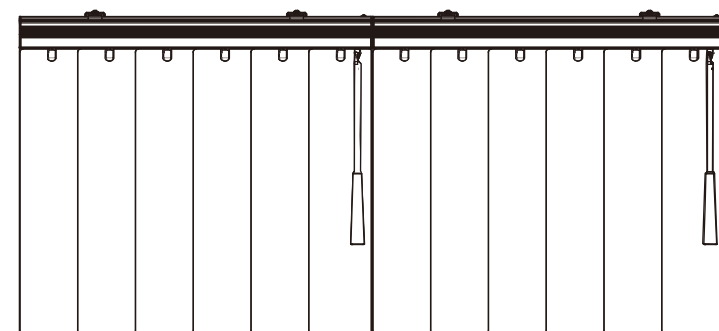
ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所ブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。
 ※ 両面テープで仮固定したスペーサーを剥がすとき、壁紙を破損することがございます。ご注意ください。

【ブラケットセットの設置方向】


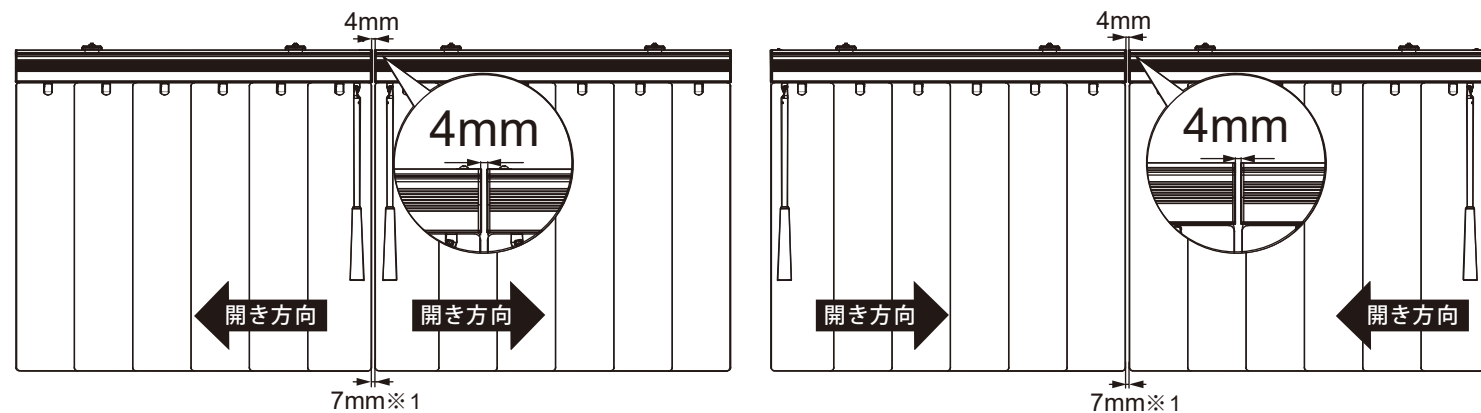
こちらのツメが室内側に向きます

【並列取り付け】

2台以上並べて設置する場合、ボタンの寄せ位置を揃えて設置いただく事を推奨します。



寄せ位置を中央、または両端にする場合、連結箇所のスラット間で干渉する恐れがあります。下記図のように、ヘッドレール間に4mmの隙間をあけて設置してください。



※1 スラット全閉時の隙間です。

3 製品本体の取り付け

3-1 ヘッドレールの開梱、ボタン取り外し

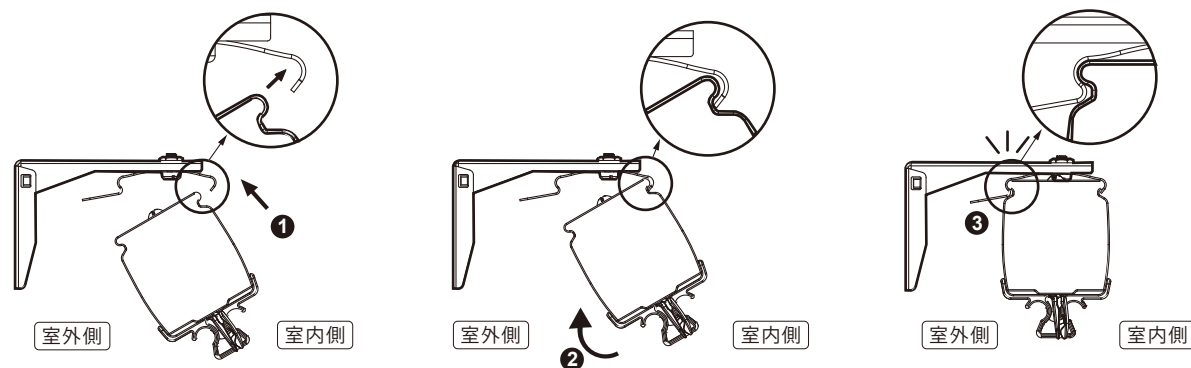
ヘッドレールの梱包を取り、ボタンを取り外します。

3-2 ヘッドレールの取り付け

ご注意ください

※イラストは壁面付けの場合です。内付けの場合は取付方法は同じですが、ブラケットが不要で、C型クリップのみで取り付けます。

ヘッドレール室内側のツメをC型クリップ手前にかかけ①、ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側に噛み合わせるよう下から上に向けて回転させます②と③。ヘッドレールの取り付け方法はすべての取付タイプで共通です。

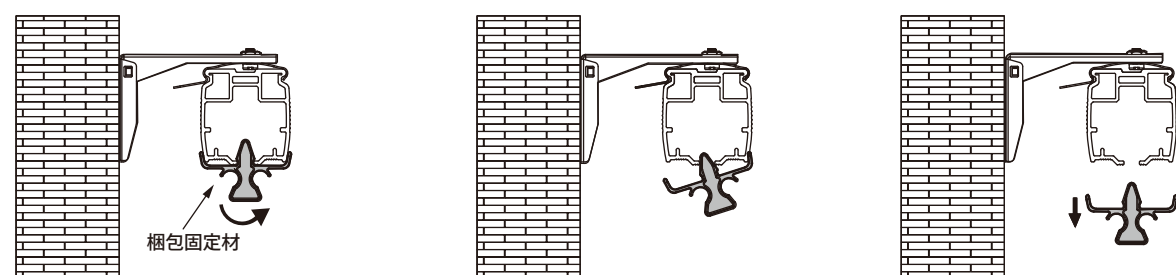


3-3 梱包固定材を外す

ご注意ください

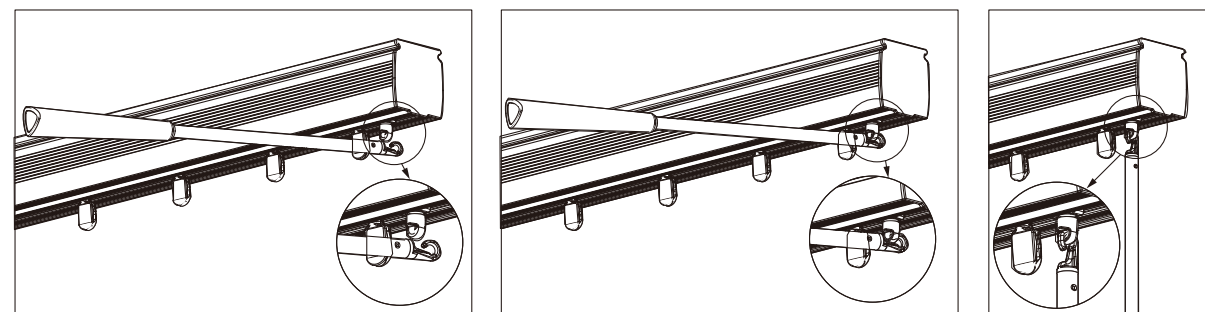
※イラストは壁面付けの場合です。内付けの場合は取付方法は同じですが、ブラケットが不要で、C型クリップのみで取り付けます。

ヘッドレールの取り付けが終わりましたら、梱包固定材を取り外してください。

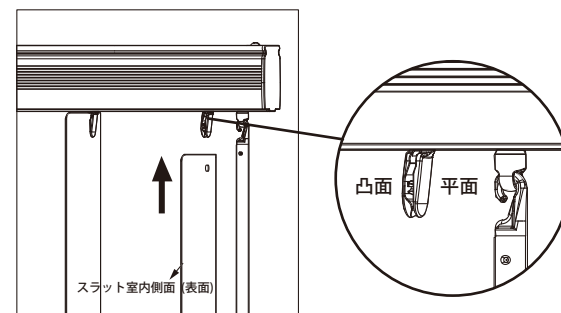


3-4 調光バトンの取り付け

レール中のボタン取付穴にボタンを取り付けます。



3-5 スラットの取り付け

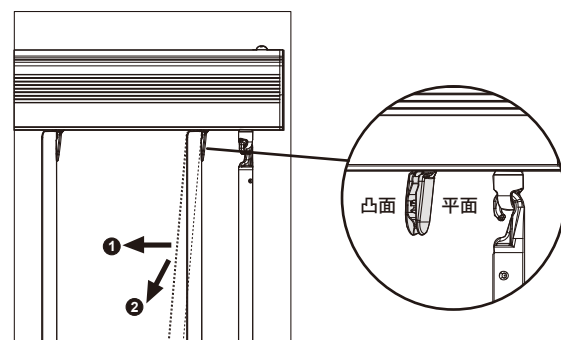


1. ボタンをひねり、スラットクリップの向きを垂直に調整します。
2. 取り付けるスラットの室内側面をボタン側に向けます。
3. クリップとスラットの穴の位置に注意し、垂直に押し上げてください。

4 取り外し方法

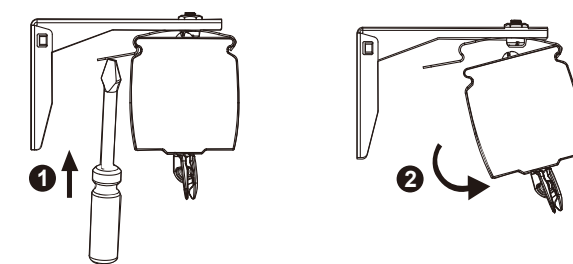
4-1 スラットの取り外し

1. スラットを垂直に調整します。
2. スラットを斜めに傾け①（クリップ下の部分を持ちます）、クリップの突起部分から外し引きます②。



4-2 ヘッドレールの取り外し

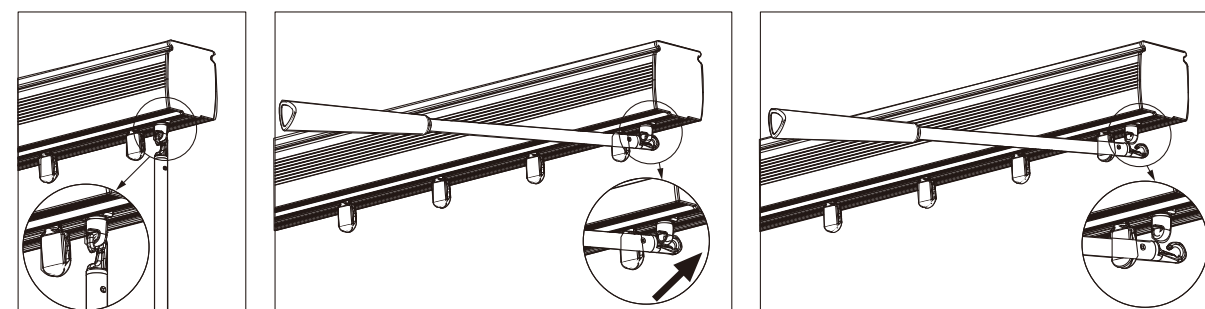
下図①の要領でマイナスドライバーをブラケットのC型クリップの凸部分を押し上げ、②の方向にヘッドレールを回転させるとツメから外れ、ブラケットからヘッドレールを取り外す事ができます。



▲壁面付けの場合

4-3 バトンの取り外し

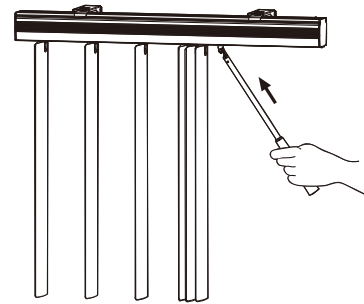
バトンの取付穴から外してください。



操作方法

1-1 スラットを収める（開口する）

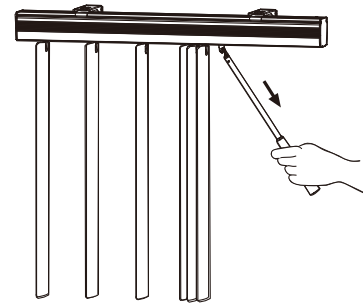
左寄せ: バトンを握り、左上に押す要領でスラットを収めます。
右寄せ: バトンを握り、右上に押す要領でスラットを収めます。



▲凡例左寄せ

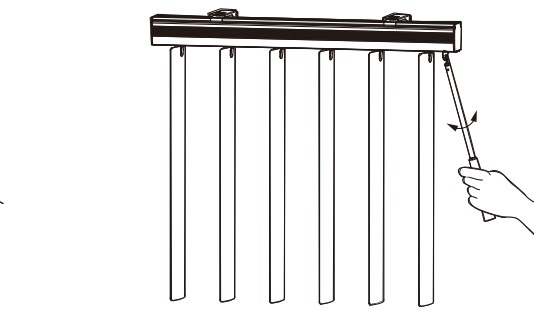
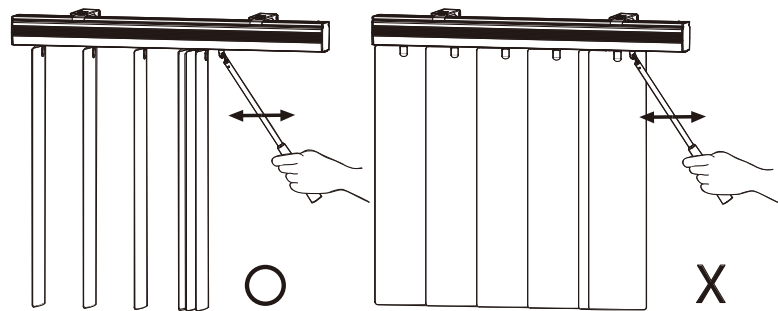
1-2 スラットを広げる（開口部を覆う）

左寄せ: バトンを握り、右下に引く要領でスラットを引き出し広げます。
右寄せ: バトンを握り、左下に引く要領でスラットを引き出し広げます。



1-3 スラットの開閉は最大採光状態で行ってください

1-4 スラット全閉時の調整



バトンをひねるとスラットが回転し、お好みの遮光レベルに調整できます。また、スラット特性のため、Sカーブスラットの場合は、操作位置（寄せ位置）により、遮光具合に差が出て参ります。バトンが右側にある場合（左寄せ）、バトンを時計回りで回すと、最大遮光となります。バトンが左側にある場合（右寄せ）、バトンを時計回りに回すと、バトンはスラットの後ろになりますが、最大遮光となります。

1-5 スラットの向きの異常について

これは障害物や何らかのはずみで回転機構部の停止位置にバラつきが起きたと考えられますが、故障ではありません。下記手順で元に戻すことが可能です。

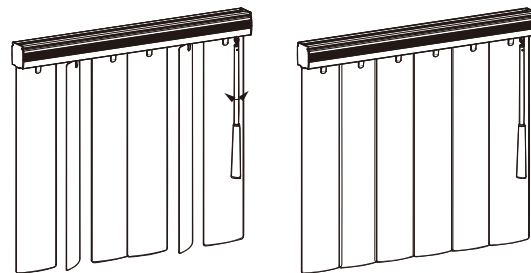
右図のような左寄せの製品で閉合不良がある場合、一度バトンを最大限右に回します。

その後、力を入れて回し込み5~6程度カチカチ音がするまで回したのち、左に回します。

これでバラつきが解消したか様子をご覧ください。

同様に右閉合にバラつきがある場合は、バトンを一番左まで回したのち、力を入れて回し込みます。

5~6程度カチカチ音がしたら右に戻し、バラつきが解消したかご確認ください。



お手入れ方法

- 日頃のお手入れは、小型ほうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 汚れがひどい時、やわらかい布で部分的に水拭きしてください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木3階

お客様サービス窓口：0120-051-507（お問い合わせ時間：平日9時30分～18時）

ホームページアドレス：

<http://www.norman.co.jp>